平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ぬくもり修学奨励資金支給事業

所管課	教育総務課（学校教育課）	（教育委員会事務局）

事業の目的	修学困難な生徒に対し修学奨励を図るため、高等学校、大学等の入学支度金として支給する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	1	本庁事務局費

根拠条例等	宇陀市ぬくもり修学奨励資金支給要綱
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H24年度事業の概要	市内に住所を有する者で、市民税非課税世帯であるもの。 高等学校等・大学入学者 向学心に富み将来のまちづくりに積極的に取り組む意欲がある者 入学支度金の支給（負担金、補助及び交付金） 高等学校又は専修学校　60,000円×19人 大学　120,000円× 3人
事業の成果	就学困難な生徒に対し、就学奨励として入学支度金を支給したことにより、教育環境づくりができた。

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		1,500
H24予算額	A	1,500
H23当初予算額	B	1,500
H23現計予算額		1,500
増減額	A－B	

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	1,260	1,080
従事職員数【人工】	0.03	0.03
人件費（人工×8,000千円）	240	240
総事業費：人件費含む（千円）	1,500	1,320
活動指標名	支給学生数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	18 単位 人	15 単位 人
単位当たりコスト　（円）	83,333	88,000

特定財源の状況

事業の目標	市の将来のまちづくり活動に取り組み意欲をもってもらい、市の将来を担っていただく。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2．子ども未来応援プロジェクト (4) 子ども達の就園就学の経済的支援

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	学校安心安全メール配信システム運営事業

所管課	教育総務課(学校教育課)
事業の目的	平成22年度きめ細かな臨時交付金事業により、保育所・幼稚園・小学校・中学校・学童保育室・子育て支援室の保護者を対象としたメール配信システムを構築し、各種学校等からの連絡や緊急時の安否確認等、双方向の連絡システムを構築した。 今後、研修会を重ね緊急時の対応や情報伝達に利用し行政事務の軽減を図る。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	1	本庁事務局費

根拠条例等	
総合計画	第4章　第3節　教育環境の整備・充実(安全で安心して学べる環境整備)

H24年度事業の概要

機器使用料

使用料及び賃借料	523
合　計	523

事業の成果

保育所・幼稚園・小学校・中学校・学童保育室・子育て支援室の保護者を対象としたメール配信システムを構築し、各種学校等からの連絡や気象警報時の対応など、双方向の連絡システムの構築ができた。
(加入率79%)

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		523
H24予算額	A	523
H23当初予算額	B	523
H23現計予算額		523
増減額	A－B	

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	508	523
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費(人工×8,000千円)	800	800
総事業費:人件費含む(千円)	1,308	1,323
活動指標名	登録者数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	－ 単位 人	2,431 単位 人
単位当たりコスト　(円)		544

特定財源の状況

事業の目標	今後加入率を100%に近づけ、正確な情報を瞬時に伝達していく。
備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3. 市民安心安全プロジェクト ［暮らしの安全］ (1) 学校安心安全メール配信事業

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	夢先生事業

所管課	教育総務課（学校教育課）	（教育委員会事務局）
事業の目的	財団法人日本サッカー協会（JFA）の協力により、JFAこころのプロジェクト「夢の教室」を市内全小学校の5年生を対象に開催し、夢を持つことの大切さ、仲間と協力することの大切さを児童に伝える。	

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	1	本庁事務局費

根拠条例等	
総合計画	第4章　第3節　教育環境の整備・充実（特色のある学校教育の推進）

H24年度事業の概要	ユメ先生及びアシスタント費用 50,000円×11クラス＝550,000円 ユメ先生及びアシスタント諸経費（交通費・宿泊費） 992,880円
事業の成果	平成22年度に実施した当該事業では、子ども達の心の生育にたいへん優れた事業であると評価を得、各小学校の管理職及び担任教諭からも同様の評価をいただいた。

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		1,543
H24予算額	A	1,543
H23当初予算額	B	1,203
H23現計予算額		1,203
増減額	A－B	340

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	822	1,466
従事職員数【人工】	0.17	0.17
人件費（人工×8,000千円）	1,360	1,360
総事業費：人件費含む（千円）	2,182	2,826
活動指標名	受講児童数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	260 単位 人	255 単位 人
単位当たりコスト　（円）	8,392	11,082

特定財源の状況

事業の目標	当該事業を継続実施することで、宇陀市内の子ども達全てに、夢を持つことの大切さや、目標に向かって努力することの大切さを伝えることで健全な児童の育成を図る。
備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2．子ども未来応援プロジェクト （13）“夢の教室”（夢先生事業）

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	小中学生基礎学力向上事業 (市単独事業)

所管課	教育総務課(教育総務課) (教育委員会事務局)
事業の目的	市内小中学生の基礎学力の向上を図ることを目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	1	本庁事務局費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第4章第3節 (1)健やかに育つための教育内容の充実

H24年度事業の概要	市内小中学生の学力向上のため、教育課程、学習指導、その他学校教育の専門的事項に関する事務に従事する指導主事を宇陀市独自で配置する。 ①学力向上のための専門的指導 ②生徒指導上の課題への対応 ③各種教育相談(不登校、就学指導等) ＊宇陀市の現状を分析し、見出した問題点についての解決を図る。 ＊各校の代表によるワーキングチームにより、研究協議を行う。 (予定:平成23年度～平成25年度)
事業の成果	平成23年度からの3年間の事業とし、成果を検証する。

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		1,943
H24予算額	A	1,943
H23当初予算額	B	1,972
H23現計予算額		1,972
増減額	A－B	▲ 29

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額 (千円)		1,800
従事職員数【人工】		0.05
人件費 (人工×8,000千円)		400
総事業費:人件費含む (千円)		2,200
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	事業費/全体事業費	
活動指標の実績	単位	31.7 単位 %
単位当たりコスト (円)		69,401

特定財源の状況

事業の目標	小中学生の基礎学力を向上させること。
備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2. 子ども未来応援プロジェクト (15) 学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成24年度当初予算（案） 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	適応指導教室（はばたき）

所管課	教育総務課（学校教育課）	（教育委員会事務局）

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	5	教育センター事業費

事業の目的

宇陀市内小・中学校の不登校児童・生徒の自立を図り、在籍校への復帰を促すとともに、状況に応じた適切な指導や学習の機会を設定し、学習継続への意欲化を図る。

根拠条例等	宇陀市適応指導教室設置要領
総合計画	基本計画 第4章 第3節 「教育環境の整備・充実」

H24年度事業の概要

菟田野地域事務所内の1室にて、教室を運営している。隣の農林会館内に体育館があり、有意義に活動できている。
平成23年度は、週2日（水・金、学校長期休業中は休み）開室しており、児童生徒は、水曜日の午後、金曜日1日通室している。指導員は、心理士2名（水曜日1名、金曜日2名）で行っている。相談業務は、主に水曜日の午前と金曜日に行っている。

事業の成果

22年度までは、0名であったが、23年度は、正式通室は、4名出た。（正式外は、2名）相談業務は、4月から9月（学校長期休業中は除く）で、相談件数10件、回数22回になる。現在、市内学校において、前月に7日以上連続して休んだ児童生徒は、4月から26名いる（単純な病気・入院で、出席が継続している者は除く。）。その中の8名が、教室と関わりがあった。通室が増えたことにより、今後は、通室と相談業務を並行して行う必要がある。特に学校と連携し、関わりがもてない児童生徒に対しても働きかけができるようにしたい。

財源の内訳 （単位：千円）		
分担金		
使用料		
国 費		
県 費		
市 債		
その他		879
一般財源		
H24予算額	A	879
H23当初予算額	B	879
H23現計予算額		879
増減額	A－B	

事業のコスト	平成22年度（実績）			平成23年度（見込）		
決算額又は決算見込額（千円）	474			879		
従事職員数【人工】	0.20			0.30		
人件費（人工×8,000千円）	1,600			2,400		
総事業費：人件費含む（千円）	2,074			3,279		
活動指標名	相談回数					
活動指標の算式						
活動指標の実績	21	単位	回	40	単位	回
単位当たりコスト （円）	98,762			81,975		

特定財源の状況

地域づくり推進基金繰入金（住民生活に光をそそぐ交付金積立分） 879千円

事業の目標

適応指導教室に来室することで、学習機会を確保することや、学校だけでなく、将来大人になったときへの社会への適応を促すための助力となりたい。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2．子ども未来応援プロジェクト
（15）学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	通級指導教室（ほほえみ）

所管課	教育総務課（学校教育課）	（教育委員会事務局）

事業の目的	学校教育法施行規則第140条の規定に基づく指導を行うため。 （小学校・中学校の課程において、特別支援学級の児童・生徒を除く次の障がいに応じ特別の指導を行う必要がある場合は、特別な教育課程によることができる） ①言語障害　②自閉症　③情緒障害　④弱視者　⑤難聴者 ⑥学習障害者　⑦注意欠陥多動性障害　⑧その他適当と思われる者

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	5	教育センター事業費

根拠条例等	学校教育法施行規則第140条：宇陀市通級指導教室設置要領
総合計画	基本計画　第4章　第3節　「教育環境の整備・充実」

H24年度事業の概要	通常の学級に在籍しているが、特別な教育的支援を必要としている子どもたちへ、専門員によりそれぞれの子どもの実態に応じて指導を行う。宇陀市立榛原小学校内に教室を置き、自校及び他校の児童生徒が個々に応じて通級する。専門員（現在1名）は各学校と連携を密にし、指導を進める。通級については、保護者の付き添いを原則とし、親の相談業務も行う。 また、幼児や、特別支援学級在籍児童生徒に対しては、教育相談を行う。
事業の成果	平成23年5月から開始した事業であるが、8月始めの統計で、（3ヶ月ほどの間に、）相談件数　22件、相談回数　78回をかぞえる。また、10月からは、正式通級者が4名出た（自校3名、他校1名）。それ以外に正式ではないが、通室している者は、8名いる。保護者からも、宇陀市で教室ができて本当によかったとの声がある。 今後も子どもたちへの教育支援を保障していきたい。

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		4,423
一般財源		
H24予算額	A	4,423
H23当初予算額	B	4,423
H23現計予算額		4,423
増減額	A－B	

事業のコスト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		4,423
従事職員数【人工】		0.10
人件費（人工×8,000千円）		800
総事業費：人件費含む（千円）		5,223
活動指標名	正式通級人数	
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	4　単位　人
単位当たりコスト　（円）		1,305,750

特定財源の状況

地域づくり推進基金繰入金（住民生活に光をそそぐ交付金積立分）　4423千円

事業の目標	平成25年度より、県に指定される通級指導教室を目指す。（奈良県では、今、桜井宇陀東和地区に通級指導教室はありません。）

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2．子ども未来応援プロジェクト （15）学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	教育相談（心理）

所管課	教育総務課（学校教育課）	（教育委員会事務局）
事業の目的	発達や不登校についての親や教職員の悩みを心理的な立場から相談を行い少しでも解消すること。	

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	5	教育センター事業費

根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱
総合計画	基本計画　第4章　第3節 「教育環境の整備・充実」

H24年度事業の概要	臨床心理士による教育相談業務。希望に応じて発達検査を行い、結果を保護者へお知らせし、相談を進める。場所は、菟田野地域事務所内2室使用している。1室は主相談室、1室は、検査及び観察室である。部屋同士が内部でつながっており、廊下へでなくても行き来ができる。親が主相談室で相談を受けていても、子どもが安心して隣の検査室へ移動することができるので都合が良い。また、人目にふれずに相談に行ける所も利用者から評価が高い。
事業の成果	平成23年9月までの相談件数74件。うち、33件が検査を行う。保護者や教職員に対してアドバイスを行う。相談継続希望の方が多い。現在は、保護者の相談だけで予約がいっぱいになるので、教職員だけの相談はお断りしているが、要望は多い。ニーズのある教職員に対しての相談をどうすすめるかと、相談に足が向かない保護者に対してどのようにするかが課題である。

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		1,200
一般財源		44
H24予算額	A	1,244
H23当初予算額	B	1,200
H23現計予算額		1,200
増減額	A－B	44

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	480	1,200
従事職員数【人工】	0.30	0.40
人件費（人工×8,000千円）	2,400	3,200
総事業費：人件費含む（千円）	2,880	4,400
活動指標名	相談件数	
活動指標の算式		
活動指標の実績	74 単位 件	110 単位 件
単位当たりコスト　（円）	38,919	40,000

特定財源の状況

地域づくり推進基金繰入金（住民生活に光をそそぐ交付金積立分） 1200千円

事業の目標	現在相談に来られる保護者の方から、年度が替わっても、小・中に行っても相談が続けられることが良いとの声を聞いている。今後も継続していきたい。
備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2．子ども未来応援プロジェクト （15）学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	小学校耐震補強事業

所管課	教育総務課(学校教育課)	(教育委員会事務局)

事業の目的	学校施設は、児童が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急的な避難場所としての役割を果たすことから、施設の耐震化を進めるとともに経年による損耗、機能低下の復旧措置を図る。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	2	小学校費
目	1	学校管理費
細目	1	本庁小学校管理費

根拠条例等	公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目
総合計画	第4章　第3節　教育環境の整備・充実(安全で安心して学べる環境整備)

H24年度事業の概要

耐震補強設計及び判定手数料

榛原小学校(校舎)

手　数　料	950
委　託　料	11,210
計	12,160

事業の成果

平成23年度において、全ての学校施設の耐震2次診断を行った。これにより、市内の学校施設で耐震が必要な施設が明確となり、国が示す平成27年度の耐震化に向け計画的に耐震化を進める

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		10,600
その他		
一般財源		1,560
H24予算額	A	12,160
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	12,160

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		7,100
従事職員数【人工】		0.10
人件費(人工×8,000千円)		800
総事業費:人件費含む(千円)		7,900
活動指標名	耐震補強整備率	
活動指標の算式	補強済棟数／全棟数(19／32)	
活動指標の実績	単位	59.4 単位 %
単位当たりコスト　(円)		132,997

特定財源の状況

合併特例債　10,600千円

事業の目標

平成27年度を目標に市内小学校の校舎・体育館等の耐震補強工事を完了し、安全生の確保と避難所機能の充実を図る。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
(16) 教育施設の整備、耐震化の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	小学校外国語活動指導助手設置事業 (市単独事業)

所管課	教育総務課(教育総務課) (教育委員会事務局)
事業の目的	平成23年度から実施された「新学習指導要領」に基づき、小学校5～6年生の授業に外国語活動が取り入れられた。 授業にネイティブスピーカーを助手として採用することで、外国語の授業が充実するとともに、子どもの頃から外国の文化や習慣の違いなどにふれる機会を創出することができる。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	2	小学校費
目	2	教育振興費
細目	1	本庁小学校教育振興費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第4章第3節　(1)健やかに育つための教育内容の充実

H24年度事業の概要	平成23年度から実施された「新学習指導要領」では、年間35時間の外国語活動が導入された。 市単事業として、昨年度に引き続き、外国語活動をスムーズに導入できる助手を宇陀市独自で設置する。
事業の成果	平成23年度の取り組みについての各校からの報告 ＊ネイティブの発音が児童に力をつけている。 ＊英語の聞き取りが進む。 ＊外国人との交流は、外国語学習の大いなる動機付けになる。 ＊英語だけでなく異文化に関しても具体的に学べる。 など

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		2,199
H24予算額	A	2,199
H23当初予算額	B	2,065
H23現計予算額		2,065
増減額	A－B	134

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		2,000
従事職員数【人工】		0.10
人件費(人工×8,000千円)		800
総事業費:人件費含む(千円)		2,800
活動指標名	学級数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	単位	24.0 単位 学級
単位当たりコスト　(円)		116,667

特定財源の状況

事業の目標	
備考	平成24年度　第5学年…11学級 第6学年…13学級 ＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2. 子ども未来応援プロジェクト (15) 学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	小学校就学援助事業

所管課	教育総務課(学校教育課)	(教育委員会事務局)

事業の目的	経済的な理由によって就学困難と認められる児童の保護者に必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	2	小学校費
目	2	教育振興費
細目	1	本庁小学校教育振興費

根拠条例等	宇陀市就学援助に関する要綱
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H24年度事業の概要	■特別支援就学奨励費 30人　1,032,750円 ■要保護及び準要保護児童就学奨励費 120人　8,053,320円
事業の成果	小学校に就学させるにあたり、経済的理由によって、学用品費や給食費等、学校で必要な費用の支払いに苦慮している保護者に対し、その一部を援助することにより、義務教育の円滑な実施を図られる。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		361
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		8,726
H24予算額	A	9,087
H23当初予算額	B	8,193
H23現計予算額		8,193
増減額	A－B	894

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	8,155			8,019		
従事職員数【人工】	0.10			0.10		
人件費(人工×8,000千円)	800			800		
総事業費:人件費含む(千円)	8,955			8,819		
活動指標名	支給児童数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	144	単位	人	144	単位	人
単位当たりコスト　(円)	62,188			61,243		

特定財源の状況

特別支援教育就学奨励費補助金
361千円

事業の目標	経済的な理由によって就学困難と認められる児童の保護者に必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資する目標とする。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2. 子ども未来応援プロジェクト (4) 子ども達の就園就学の経済的支援

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大宇陀小学校建設事業

所管課	教育総務課（学校教育課）	（教育委員会事務局）

事業の目的

平成22年4月に、大宇陀・守道・田原小学校で再編を行い、3校の児童は大宇陀小学校校舎で学習し、残る野依小学校についても児童数が減少傾向にあることから、大宇陀地域の小学校を1校に再編することとなりました。大宇陀小学校の現校舎は古いもので、築50年を経過しており、耐力度も国の示す基準を下回りっていることから、新しい校舎を建設し、教育環境の整備を図るものです。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	2	小学校費
目	3	学校建設費
細目	1	大宇陀小学校建設費

根拠条例等	小学校設置条例
総合計画	第4章　第3節　教育環境の整備・充実(学校統廃合)

H24年度事業の概要

平成24年度内に第1期工事を完了し、平成25年度にかけて解体工事やグラウンド整備等の第2期工事を進める。

事務費他	4,333千円
委託料	12,959千円
工事請負	827,770千円
備品購入	45,000千円

事業の成果

この度の「新大宇陀小学校」の建設は、通学の便宜や地域性、建設費用などを踏まえ、現在と同じ敷地内に新築し、児童が安心安全に、勉学やスポーツに励むことができるよう教育環境の整備を図るとともに、地域の防災拠点としての活用を図ります。

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		234,567
県　費		
市　債		583,800
その他		
一般財源		71,695
H24予算額	A	890,062
H23当初予算額	B	683,516
H23現計予算額		683,510
増減額	A－B	206,546

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	27,477	212,400
従事職員数【人工】	1.50	0.20
人件費（人工×8,000千円）	12,000	1,600
総事業費：人件費含む（千円）	39,477	214,000
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	各年度末執行額／全体事業費	
活動指標の実績	2.0 単位 %	10.7 単位 %
単位当たりコスト　（円）	19,738,500	20,000,000

特定財源の状況

■ 国庫
公立学校施設整備費国庫負担金
（文部科学省）234,567千円

■合併特例債　583,800千円

事業の目標

平成25年4月の大宇陀地域での小学校統合（1校）に向け、校舎及び体育館等の整備を完了し、25年度内に校舎解体・校庭・道路など周辺環境の整備工事を完了したい。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
（16）教育施設の整備、耐震化の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	中学校耐震補強事業

所管課	教育総務課(学校教育課)	(教育委員会事務局)

事業の目的	学校施設は、児童が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急的な避難場所としての役割を果たすことから、施設の耐震化を進めるとともに経年による損耗、機能低下の復旧措置を図る。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費
細目	1	本庁中学校管理費

根拠条例等	公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目
総合計画	第4章　第3節　教育環境の整備・充実(安全で安心して学べる環境整備)

H24年度事業の概要

耐震補強設計及び判定手数料

大宇陀中学校(校舎)

手　数　料	1,250
委　託　料	11,828
計	13,078

事業の成果

平成23年度において、全ての学校施設の耐震2次診断を行った。これにより、市内の学校施設で耐震が必要な施設が明確となり、国が示す平成27年度の耐震化に向け計画的に耐震化を進める

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		11,200
その他		
一般財源		1,878
H24予算額	A	13,078
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	13,078

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		24,350
従事職員数【人工】		0.10
人件費(人工×8,000千円)		800
総事業費:人件費含む(千円)		25,150
活動指標名	耐震補強整備率	
活動指標の算式	補強済棟数／全棟数(13／20)	
活動指標の実績	単位	65.0 単位 %
単位当たりコスト　(円)		386,923

特定財源の状況

合併特例債　11,200千円

事業の目標

平成27年度を目標に市内中学校の校舎・体育館等の耐震補強工事を完了し、安全生の確保と避難所機能の充実を図る。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2. 子ども未来応援プロジェクト
(16) 教育施設の整備、耐震化の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	中学校就学援助事業

所管課	教育総務課(学校教育課)	(教育委員会事務局)

事業の目的	経済的な理由によって就学困難と認められる生徒の保護者に必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費
細目	1	本庁中学校教育振興費

根拠条例等	宇陀市就学援助に関する要綱
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実

H24年度事業の概要	■特別支援就学奨励費 10人　506,375円 ■要保護及び準要保護生徒就学奨励費 90人　9,239,700円
事業の成果	小学校に就学させるにあたり、経済的理由によって、学用品費や給食費等、学校で必要な費用の支払いに苦慮している保護者に対し、その一部を援助することにより、義務教育の円滑な実施を図られる。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		255
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		9,492
H24予算額	A	9,747
H23当初予算額	B	10,190
H23現計予算額		10,190
増減額	A－B	▲ 443

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	10,207	9,482
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費(人工×8,000千円)	800	800
総事業費:人件費含む(千円)	11,007	10,282
活動指標名	支給生徒数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	106 単位 人	127 単位 人
単位当たりコスト　(円)	103,840	80,961

特定財源の状況

特別支援教育就学奨励費補助金
177千円

要保護生徒援助費補助金
78千円

事業の目標	経済的な理由によって就学困難と認められる生徒の保護者に必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資する目標とする。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2. 子ども未来応援プロジェクト (4) 子ども達の就園就学の経済的支援

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	幼稚園保育料援助費

所管課	教育総務課（学校教育課）	（教育委員会事務局）

事業の目的

宇陀市立幼稚園の一層の普及充実を図るため、保育料支払いの経済的負担が大きい保護者を対象として、保育料の減免を行う。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	4	幼稚園費
目	1	幼稚園費
細目	1	本庁幼稚園費

根拠条例等	宇陀市立幼稚園保育料徴収条例第5条、同施行規則第4条
総合計画	基本計画　第4章　第3節 『教育環境の整備・充実』

H24年度事業の概要

全保護者に事業内容案内を配布し、保護者からの申請により、減免を行う。
扶助費　868

72、000×6人	432,000	生活保護者等の全額免除者
20、000×8人	160,000	第1子
46、000×3人	138,000	2人以上就園の第2子
72、000×0人	0	2人以上就園の第3子以降
33、000×2人	66,000	兄・姉が小学校の低学年の第2子
72、000×1人	72,000	兄・姉が小学校の低学年の第3子以降

＊歳入の補助基準額＝656、000円／3×0．7

事業の成果

平成23年度減免認定　8名
家庭の経済的負担軽減を図るため、第1子から減免を実施しており、平成22年度からは兄・姉が小学校低学年にいる第二子の保護者まで範囲を広げ、幼稚園利用保護者負担の経済的軽減を図っている。
小学校就学前の保育所入所者以外の児童に、家庭の経済的な理由で幼稚園就園を断念することなく、幼稚園教育を受ける機会を設けた。

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		153
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		715
H24予算額	A	868
H23当初予算額	B	993
H23現計予算額		993
増減額	A－B	▲ 125

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	540	364
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費（人工×8,000千円）	400	400
総事業費：人件費含む（千円）	940	764
活動指標名	減免認定者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	14 単位 人	10 単位 人
単位当たりコスト　（円）	67,143	76,400

特定財源の状況

国庫補助金
幼稚園就園奨励費補助金
153千円

事業の目標

今後も、宇陀市立幼稚園の振興のために減免を行っていく。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
2．子ども未来応援プロジェクト
(4) 子ども達の就園就学の経済的支援

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子どもフェスタ実行委員会補助金事業

所管課	生涯学習課	(教育委員会事務局)

事業の目的	遊び体験を通じて仲間づくりや参加者の交流を深めるとともに、豊かな感性を育み、未来を担う宇陀市の子どもたちの健全育成に努める。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	3	青少年活動費
細目	1	本庁青少年活動費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第4章第4節　生涯学習の充実　地域教育力の醸成

H24年度事業の概要	実行委員会補助金　600千円
事業の成果	子どもフェスタ2011(H23年度) 参加者　約1,400人 テーマ　つながれ心！　ひろがれ笑顔！ 内　容　紙ひこうき大会・チャレンジランキング・大声コンテスト タイムトンネル・音楽コンサート・人形劇・ジュースの釣堀等

財源の内訳　(単位:千円)

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		600
H24予算額	A	600
H23当初予算額	B	558
H23現計予算額		558
増減額	A−B	42

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	558			558		
従事職員数【人工】	0.30			0.30		
人件費(人工×8,000千円)	2,400			2,400		
総事業費:人件費含む(千円)	2,958			2,958		
活動指標名	参加者数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	1,500	単位	人	1,400	単位	人
単位当たりコスト　(円)	1,972			2,113		

特定財源の状況

事業の目標	子どもたちにより多くの遊び体験の場や交流の機会を提供し、規範意識や仲間意識を醸成するとともに、市内の子ども達が一堂に会する機会を設け宇陀市の一体感を醸成する。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2. 子ども未来応援プロジェクト (14) “こどもフェスタ2012”開催費(実行委員会補助金)

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子ども活動支援事業

所管課	生涯学習課	（教育委員会事務局）

事業の目的	地域教育力再生の契機として、地域ぐるみで学校をサポートするボランティア活動を支援することによって、子ども達の学習補助や環境の整備、登下校の見守りなど、子どもたちが安全で安心な学校生活が送れる環境を整えることを目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	3	青少年活動費
細目	1	本庁青少年活動費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第4章第4節　生涯学習の充実　地域教育力の醸成

H24年度事業の概要

子ども活動支援事業　4中学校区

コーディネーター等謝金	610,000
需用費	463,000
郵送料・保険料	143,000
その他	20,000
合　計	1,236,000

事業の成果

学校支援地域本部事業（H22年度）【国直轄事業】
4中学校区
学習支援活動・登下校安全指導・環境整備等

財源の内訳　（単位：千円）

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		824
市　債		
その他		
一般財源		412
H24予算額	A	1,236
H23当初予算額	B	1,240
H23現計予算額		1,240
増減額	A－B	▲ 4

事業のコスト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		1,240
従事職員数【人工】		0.05
人件費（人工×8,000千円）		400
総事業費：人件費含む（千円）		1,640
活動指標名	ボランティアの登録数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	単位	180 単位 人
単位当たりコスト　（円）		9,111

特定財源の状況

学校地域連携事業補助金
824千円

事業の目標	地域ぐるみで子育てをする体制を構築することで、教育活動の充実や教員が子どもと向き合う時間の拡張により、将来宇陀市を担う健全な青少年の育成を図る。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2．子ども未来応援プロジェクト （15）学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	文化財ボランティア養成講座事業

所管課	文化財課（文化財保存課）	（教育委員会事務局）

事業の目的	市内には、国・県・市指定の文化財をはじめ、数多くの貴重な文化財が存在する。これらの貴重な文化財の保護・活用を図りまた文化財を保護・活用を図り、又文化財を後世に引き継いでいくために「文化財ボランティア」を養成・育成しその活動を通じて歴史・文化の再認識し文化財愛護思想の高揚、地域文化財の保護・顕彰を図ることを目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	1	本庁文化財保護費

根拠条例等	文化財保護法　文化財ボランティア養成講座実施要綱
総合計画	基本計画　第5章第3節　（4）芸術文化活動の振興

H24年度事業の概要	本年度は、中級講座として開講する。 受講終了分野の、更に深めた講座を開設する。
事業の成果	平成22年・23年の2ヶ年継続講座を開設。 約10名から15名の受講生に参加していただいた。 市内の歴史や、市内に点在する文化財施設や伝承されたものを学んでいただいた。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		12
H24予算額	A	12
H23当初予算額	B	10
H23現計予算額		10
増減額	A－B	2

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）			平成23年度（見込）		
決算額又は決算見込額（千円）				10		
従事職員数【人工】	0.60			0.60		
人件費（人工×8,000千円）	4,800			4,800		
総事業費：人件費含む（千円）	4,800			4,810		
活動指標名	登録者数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	15	単位	人	10	単位	人
単位当たりコスト　（円）	320,000			481,000		

特定財源の状況

事業の目標	ボランティア養成講座を修了された方々を市に登録していただき、今後「指導ボランティア」や「運営ボランティア」として活動していただく予定。文化財としての貴重な財産をを受講者から市民への情報発信をしていただき広く市民に周知していく。又、イベント時や講演会時にはお手伝いをしていただく予定です。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4．産業振興観光振興プロジェクト ［観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用］ (3) 観光施設、観光資源の整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	室生染田天神講連歌堂保存修理助成事業

所管課	文化財課(文化財保存課)	(教育委員会事務局)

事業の目的	市内の国・県・市指定文化財の保存修理・設備点検・環境整備等の実施に対し助成するもののうち、室生多田にある県指定有形民俗文化財「染田天神講連歌堂」の保存修理工事に対し助成するものである。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	1	本庁文化財保護費

根拠条例等	宇陀市文化財保護条例　第10条　　宇陀市文化財保存事業費補助金要綱
総合計画	基本計画　第5章第3節　(1)文化財の保護・活用

H24年度事業の概要	染田天神講連歌堂は、県指定文化財である。地元自治会が事業主体となり保存修理工事を実施する。現在の建物は従前の厨子部分を除いて18世紀中頃に旧形を引き継いで立て直されたもので、江戸時代の建築とされる。H23年度からの継続事業でありH24年度で修理工事は完了する予定である。
事業の成果	染田天神は、室生多田の地侍「多田順実」が南北朝時代禎治年間(1362～1368)に天神御影を感得し居館近くの染田に祀ったのが始まりと伝わる。周辺の都介郷の地侍層は、これを中心として「東山内天神講」を結び法楽連歌として以後天神句会が開催されてきたものである。紀中頃に旧形を引き継いで立て直されたものと思われる。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		2,533
H24予算額	A	2,533
H23当初予算額	B	3,000
H23現計予算額		2,266
増減額	A－B	▲ 467

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		2,266
従事職員数【人工】		0.50
人件費(人工×8,000千円)		4,000
総事業費:人件費含む(千円)		6,266
活動指標名	進捗率	
活動指標の算式	執行額/総事業費	
活動指標の実績	単位	47.2 単位 %
単位当たりコスト　(円)		132,754

特定財源の状況

事業の目標	・指定文化財の管理と無形文化財を後世に残していくために、保持団体と連携しながら事業を継続する。 ・引き続いて所有者等と連携しながら文化財の適切な保護・管理を実施する。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (2) 歴史的・文化的資源の保存整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	その他指定文化財保存修理等助成事業

所管課	文化財課(文化財保存課)	(教育委員会事務局)

事業の目的	市全体の文化財保護事業をおこなう、国・県・市指定文化財の保存修理、設備点検環境整備、伝承事業等の実施に対し助成するものである。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	1	本庁文化財保護費

根拠条例等	宇陀市文化財保護条例　第10条　　宇陀市文化財保存事業費補助金要綱
総合計画	基本計画　第5章第3節　(1)文化財の保護・活用

H24年度事業の概要	・各地域の歴史、風土のなかで育まれた伝統文化や祭り、民俗行事、郷土芸能等の保存又後継者育成を担っている。 ・指定文化財所有者の防災設備点検等建造物保存修理、環境整備等の経費軽減を図る。
事業の成果	○文化財愛護団体等補助金 ・国史跡文祢麻呂墓顕彰会 ・市指定文化財伝承補助金 「大野いさめ踊り」、「室生獅子舞」、「竜口獅子舞」、「田口獅子舞」 ○文化財補助金 文化財の管理、修理、復旧、公開、調査、その他文化財の保存及び活用等の経費並びに防犯上緊急の措置を講じる為の経費(国費・県費を控除した額)を補助するもの。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		2,386
H24予算額	A	2,386
H23当初予算額	B	807
H23現計予算額		807
増減額	A－B	1,579

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	766			657		
従事職員数【人工】	1.50			1.50		
人件費(人工×8,000千円)	12,000			12,000		
総事業費:人件費含む(千円)	12,766			12,657		
活動指標名	補助件数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	26	単位	件	20	単位	件
単位当たりコスト　(円)	491,000			632,850		

特定財源の状況

事業の目標	・指定文化財の管理と無形文化財を後世に残していくために、保持団体と連携しながら事業を継続する。 ・引き続いて所有者等と連携しながら文化財の適切な保護・管理を実施する。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (2) 歴史的・文化的資源の保存整備

平成 24 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	天然記念物向淵スズラン群落再生事業

所管課	文化財課（文化財保存課）	（教育委員会事務局）

事業の目的	室生向渕にある、天然記念物指定のスズラン自生南限地の保存管理計画を策定し、併せて現状調査等を実施する。計画に基づいて管理目標を定め観察と管理をおこなっていくことを目的とする。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	3	天然記念物保存事業費

根拠条例等	宇陀市文化財保護条例
総合計画	基本計画　第5章第3節　（1）文化財の保護・活用

H24年度事業の概要	平成21年から実施している、分布調査・生育調査・照度調査・土壌調査等を実施し以前より検討中の「向淵スズラン群落管理計画を」作成する。併せて、環境整備工事として柵・見学デッキ・説明板等の設置をする。
事業の成果	指定当時には、面積約3万㎡で、生育密度は密生した場所で1㎡あたり平均45株であった。平成9年には、面積約500㎡で約5，500株が生育し、密度は20から26株であった。平成21年調査では、面積217㎡で約29，000株が生育し、密度は「オクシバ」で約119株、「タヌキヤブ」で約136株であった。個体数及び密度は増加傾向にある。外来種である「ドイツスズラン」の混在も確認され、その都度除去してきた。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金		
使用料		
国　費		5,000
県　費		1,500
市　債		
その他		
一般財源		3,504
H24予算額	A	10,004
H23当初予算額	B	3,307
H23現計予算額		3,307
増減額	A－B	6,697

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）			平成23年度（見込）		
決算額又は決算見込額（千円）	3,009			3,307		
従事職員数【人工】	1.20			1.20		
人件費（人工×8,000千円）	9,600			9,600		
総事業費：人件費含む（千円）	12,609			12,907		
活動指標名	進捗率					
活動指標の算式	実績事業費/全体事業費					
活動指標の実績	16.37	単位	%	18.00	単位	%
単位当たりコスト　（円）	770,250			717,056		

特定財源の状況

天然記念物調査再生事業費補助金
国：5,000千円
県：1,500千円

事業の目標	本事業は、前回調査から10年以上経過しているため、現段階において現状調査し今後スズラン群落を長く保護・管理していくための管理計画を策定。併せて、侵入防止柵・見学デッキ・説明板等の環境整備工事を実施します。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4．産業振興観光振興プロジェクト ［観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用］ (3) 観光施設、観光資源の整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀松山地区重要伝統的建造物群保存事業

所管課	文化財課(文化財保存課)	(教育委員会事務局)

事業の目的	歴史的町並みの特性を維持回復するため、地区内の伝統的建造物の修理・それ以外の建造物の修景に対して補助金の交付を行う。伝建物以外の建造物等の新築や増改築に際しても計画に定められた基準に従って周囲の伝建物と調和させることを「修景」と言いい、歴史的町並みの構成要素である伝統的建造物の「修理」とともに推進していくことで町並みの価値が高められる。又、地区内に暮らす人の命と文化財的価値を守るため防災施設等の整備を行い、これらをもって市民が誇りと愛着をもってまちづくりに資することを目的とする。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	21	まちなみ保存整備事業費

根拠条例等	文化財保護法　宇陀市松山地区伝統的建造物群保存地区保存条例
総合計画	基本計画　第5章第3節　(3)歴史・文化資源の整備と充実

H24年度事業の概要	周囲の環境と一体をなして歴史的な風致を形成している伝統的な建造物群を「伝統的建造物群保存地区」国は特にその価値が高いものを「重要伝統的建造物群保存地区」に選定、宇陀松山地区は奈良県で二番目に選定された。 保存への取組として所有者等が行う修理・修景事業に大して補助をするものである。 修理　4件
事業の成果	修理・修景補助については、申請された物件について選定委員会を開催し、緊急度・効果の高いものの中から採択をして年間4～6件の工事について補助をおこなっている。建物が再生される過程を見た施主や周囲の住民からの評判も良く、事業への関心が高まっており、申請件数も年々増加しており待機状態が続いている状況である。又先進地研修やまちづくり講座等住民に対しての啓発活動を行っている。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		16,973
県　費		3,394
市　債		
その他		
一般財源		13,751
H24予算額	A	34,118
H23当初予算額	B	26,729
H23現計予算額		25,401
増減額	A－B	7,389

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	25,522			25,401		
従事職員数【人工】	1.20			1.20		
人件費(人工×8,000千円)	9,600			9,600		
総事業費:人件費含む(千円)	35,122			35,001		
活動指標名	進捗率					
活動指標の算式	実績事業費/全体事業					
活動指標の実績	10.12	単位	%	10.07	単位	%
単位当たりコスト　(円)	3,470,553			3,475,770		

特定財源の状況

重要伝統的建造物群保存地区
保存事業費補助金
国　:　16,973千円
県　:　3,394千円

事業の目標	重伝建地区(宇陀松山地区)は、奈良県内3箇所のうちのひとつであり、後世に引き継いでいく貴重な財産であります。観光客数も年々増加傾向にあり、伝建地区の価値の向上を図っていくにあたり、宇陀松山城跡と城下町を一体的に捉え、観光面とリンクさせながら都市間・世代間交流を図り流入人口の増加を目指します。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (2) 歴史的・文化的資源の保存整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	史跡宇陀松山城跡保存整備事業

所管課	文化財課(文化財保存課)	(教育委員会事務局)

事業の目的	宇陀松山城跡は、豊臣政権のもとで大和郡山城・高取城と並ぶ倭支配の拠点として誕生。宇陀松山城のとくちょうとして、城郭全域に渡って城割を受けていることである。今後の保存整備の方向性を考える場合その範囲、内容等のて把握が必要である。又、城割の時期、内容等が一体として把握できる非常にまれな事例であるので、将来的な城跡の整備・公開等を考慮し保存整備していくことを目的とする。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	23	史跡宇陀松山城跡整備事業

根拠条例等	文化財保護法
総合計画	基本計画　第5章第3節　(3)歴史・文化資源の整備と充実

H24年度事業の概要	(1)(A)天守郭・天守郭周辺部・帯郭東側 (B)本丸平坦部・本丸北斜面の保存整備工事 (2)(C)本丸南東虎口・南虎口部・帯郭西側の保存整備実施設計 (3)7～10次発掘調査報告書の作成
事業の成果	宇陀松山城跡は、平成18年7月に国史跡指定を受け、指定面積は67，667㎡であり、そのうち総石垣つくりの約22，450㎡の公有化を実施している。整備範囲は公有化を行った範囲を中心に城跡への登城道部分を対象とする。遺構内容・城割の状況と範囲・石垣等の崩落箇所の保全・修復等の関係を十分に検討しながら保存整備を進めている。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		4,875
県　費		1,462
市　債		5,000
その他		
一般財源		1,983
H24予算額	A	13,320
H23当初予算額	B	25,195
H23現計予算額		25,195
増減額	A－B	▲ 11,875

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	15,855			25,195		
従事職員数【人工】	1.20			1.20		
人件費(人工×8,000千円)	9,600			9,600		
総事業費:人件費含む(千円)	25,455			34,795		
活動指標名	進捗率					
活動指標の算式	実績事業費/全体事業					
活動指標の実績	5.28	単位	%	8.38	単位	%
単位当たりコスト　(円)	4,821,023			4,152,148		

特定財源の状況
史跡宇陀松山城跡保存整備事業費補助金 国:4,875千円 県:1,462千円 合併特例債　5,000千円

事業の目標	宇陀市のシンボルとして位置づけ、市民相互が集い憩う場として、その活用を図らなければならない。伝建事業や街なみ環境整備事業ともあわせ一体となった事業を展開する。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (2) 歴史的・文化的資源の保存整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	片岡家住宅所蔵文書調査事業

所管課	文化財課(文化財保存課)	(教育委員会事務局)

事業の目的	国重要文化財片岡家住宅に伝わる文書(史料)類は、「大宇陀町史」編纂時にその一部が調査され、室町時代・江戸時代以降の当地域の歴史を考える上において重要性な史料であることが判明している。文書は約1万点あるといわれる。これら文書の詳細調査をおこない、整理した上で次代へ引き継げるようこの事業を実施する。調査後の価値判断によって、国または県指定文化財の指定を検討する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	25	片岡家文書調査事業費

根拠条例等	文化財保護法
総合計画	基本計画　第5章第3節　(1)文化財の保護・活用

H24年度事業の概要	片岡家に伝わる約1万点の文書(史料)を詳細調査し、整理するものである。文化庁・県教委・片岡家文書調査会(仮称)の指導を得て実施するものである。
事業の成果	国又は県指定文化財の指定を検討する。専門家等の指導、助言を得て文書(史料)類の保管、管理、活用を有効的におこなう。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		1,500
県　費		90
市　債		
その他		
一般財源		1,412
H24予算額	A	3,002
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	3,002

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		
従事職員数【人工】		
人件費(人工×8,000千円)		
総事業費:人件費含む(千円)		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　(円)		

特定財源の状況
古文書調査補助金 国:1,500千円 県:　90千円

事業の目標	調査結果は、「片岡家文書調査報告書」としてまとめ、公判する。定期的に片岡家と協力して一般公開を行う。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (2) 歴史的・文化的資源の保存整備

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	図書回収事業

所管課	図書館	(教育委員会事務局)

事業の目的	図書館管理システムを活用し、菟田野地域、室生地域で予約した図書の受け取りや、両地域で図書の返却ができるよう回収ボックスを設置し、定期的に回収を行うことにより図書館利用者の利便性を図る。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	5	図書館費
細目	1	図書館費

根拠条例等	宇陀市図書館条例
総合計画	基本計画　第4章　第3節　教育環境の整備・充実　及び第4節　生涯学習の充実

H24年度事業の概要	図書回収業務委託料　408千円
事業の成果	

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		408
H24予算額	A	408
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A−B	408

事業のコスト	平成22年度(実績)		平成23年度(見込)	
決算額又は決算見込額(千円)				
従事職員数【人工】				
人件費(人工×8,000千円)				
総事業費:人件費含む(千円)				
活動指標名				
活動指標の算式				
活動指標の実績		単位		単位
単位当たりコスト　(円)				

特定財源の状況

事業の目標	市民が"いつでも、どこでも、誰でも"自由に学ぶことのできる環境をめざし、公民館分館での図書の受け取りやで増設した返却ポストで市内のアクセスポイントの拡充することにより、利用者の利便性の向上と、図書館の利用範囲を広め、市民一人ひとりの生涯学習に対する意欲を促す。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 6. 改革改善プロジェクト (3) 市立図書館の利便性向上

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀松山地区街なみ環境整備事業

所管課	文化財課(文化財保存課)	(教育委員会事務局)

事業の目的	歴史的環境の保存と住環境の整備との共生を図りながら、良好な住環境の整備を図る事業である。文化財としての街なみ景観の保存と住民が居住する住宅地区で実施することを目的とする。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	6	街なみ環境整備事業費
細目	20	街なみ環境整備事業費

根拠条例等	社会資本整備総合交付金交付要綱
総合計画	基本計画　第5章第3節　(3)歴史・文化資源の整備と充実

H24年度事業の概要	松山地区の地域の特性に応じた個性的で質の高いまちづくりを実施するための整備、道路電柱の美装・街路灯整備・公園整備・生活環境施設整備・防火施設整備等の住環境の改善を行う。 工事概要:道路美装化工事　L=150m
事業の成果	道路美装化・街路灯の整備公園の整備2箇所 生活環境施設の整備2箇所　防災施設の整備 地下式防火水槽1基 消火栓5基 を実施済み

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		16,500
県　費		
市　債		15,000
その他		
一般財源		2,495
H24予算額	A	33,995
H23当初予算額	B	21,895
H23現計予算額		21,895
増減額	A−B	12,100

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	15,743			21,895		
従事職員数【人工】	1.20			0.50		
人件費(人工×8,000千円)	9,600			4,000		
総事業費:人件費含む(千円)	25,343			25,895		
活動指標名	進捗率					
活動指標の算式	実績事業費/全体事業					
活動指標の実績	1.57	単位	%	2.18	単位	%
単位当たりコスト　(円)	16,142,038			11,878,440		

特定財源の状況
社会資本整備総合交付金 16,500千円 合併特例債 15,000千円

事業の目標	街なみ環境整備地区である宇陀松山地区は、城下町・商家町であり重要伝統的建造物群保存地区・宇陀松山城跡等を一体的事業と位置づけ事業展開を進めていく。

備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4. 産業振興観光振興プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (2) 歴史的・文化的資源の保存整備

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀シティマラソン実行委員会補助金事業

所管課	生涯学習課	（教育委員会事務局）

事業の目的	宇陀の豊かな自然の中で、参加者の健康維持・増進を目指し、参加者相互の親睦と交流を深めると共に、市の活性化と青少年の健全な育成を目指す。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	6	保健体育費
目	1	保健体育総務費
細目	1	本庁保健体育総務費

根拠条例等	宇陀市社会体育振興事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第4章第5節　スポーツ・レクリエーションの充実　市民全体のスポーツ・レクリエーション活動の支援

H24年度事業の概要	・実行委員会補助金　1,600千円
事業の成果	第4回宇陀シティマラソン（22年度） ・3月11日、東日本大震災の発生により開催を自粛・中止。 ・参加者申込者数1,699名（宇陀市民368名・市外1,331名） ※定員1,500名 ・宇陀市特産品販売　・市内温泉のPR（手湯・施設利用割引券） ・市内観光パンフの配布　・元気汁（豚汁）の無料ふるまい 第5回宇陀シティマラソン（23年度） ・近年のマラソンブームに乗じ、22年度と同様の参加申込者数が見込まれる。 ・市のPRも22年度と同様に実施すると共に被災地への支援を実施することを検討中。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		1,600
H24予算額	A	1,600
H23当初予算額	B	1,600
H23現計予算額		1,600
増減額	A－B	

事業のコスト	平成22年度（実績）			平成23年度（見込）		
決算額又は決算見込額（千円）	1,080			1,600		
従事職員数【人工】	0.50			0.50		
人件費（人工×8,000千円）	4,000			4,000		
総事業費：人件費含む（千円）	5,080			5,600		
活動指標名	参加者数					
活動指標の算式	－					
活動指標の実績	1,699	単位	人	1,500	単位	人
単位当たりコスト　（円）	2,990			3,733		

特定財源の状況

事業の目標	参加選手やボランティアスタッフ（約350名）が、「走ろう宇陀！ふれあう心」をスローガンに、本大会を通じて、互いの親睦を図り、市の一体感を醸成していくと共に、市外また全国より多数の参加選手を迎え、市総合計画「まちづくり基本方針」において掲げられている「交流人口の増加」にも貢献していくことを目標とする。

備考	H22年度については、大会中止となったため、活動指標の実績は参加申込者数とした ＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 5. 共に考え行動する「協働」プロジェクト (7) 市民との協働の推進